

Archive

群馬日仏協会アーカイブ 2013.04 - 09

[5月例会]
第3回文化講演会とランチ

5月26日(日) 群馬県立館林美術館で開催中の「パルビエ × ラブルール展」の作品展示コレクションの所有者であり、日本におけるフランス文学及びフランス研究の第一人者でもある鹿島茂氏による「アール・デコの挿絵本、あるいは絶滅した恐竜」をテーマにギャラリートークが開催されました。

桐生のレストラン「シェフ ハヤカワ」さんでとておきの特別ランチを楽しみ、素晴らし季節のみどり溢れるロケーションの館林美術館で開催中の展覧会観賞会と講演会を拝聴しました。



[6月例会]
第1回フランスワイン・セミナー

6月22日(土) 伊勢崎プリオバレスさんで第1回フランスワイン・セミナーが開催されました。

先ず1部ではメルシャン株式会社様よりソムリエの方をお招きし、

①ワインってどんなお酒?

②ワインの味わいを決めるものは?

(香味にかかる3つの要素)

③ブドウの品種と特徴を知ろう

④ワインはどう選ぶ

⑤もっと美味しく飲むには

と5つの課題について、実践的に指導頂きながら開催し、2部では実際にワインを飲みながらプリオバレス伊勢崎さんで用意いただく軽食をつまみながら楽しいひと時を参加者の皆様と共に味わいました。

今までワインのことを知っているつもりだったがより深くワインのことが理解できたと参加の方々からも好評をいただきました。



[7月例会]
「ジュヌ・クレアシオンにみるアート・アソシエーションの可能性」

[8月例会]
第2回コンフィチュールセミナー

7月14日(日) 前橋元気プラザ2Fにおいて「ジュヌ・クレアシオンにみるアート・アソシエーションの可能性」が開催されました。

講師は、昨年同様、食のアドバイザー、料理研究家の小暮小百合(きぐれさゆり)さんによるセミナーで、開催場所は昨年同様パティスリー ミヤケ(MIYAKE)さんでした。

今回のテーマは夏野菜と季節の果物特に夏野菜の代表の一つ、トマトを使ったコンフィチュール作りに挑戦しました。

■トマトとレモンのコンフィチュール
Confiture de Tomate rouges et citron

■フルマージュに合うトマトのコンフィ チュール
Confiture de Tomate rouges pour les fromages

■桃と巨砲のジャム
Confiture de Peche et Raisin Kyoho



イベント情報

2013ノエル例会



12月に毎年好評のノエル例会を開催致します。

今年もフランスのノエルのテーマに添って、例会を企画しています。

美味しい料理やワイン、お楽しみイベントと共に会員相互の交流会を兼ねた例会となります。

大勢の会員皆様の参加をお待ちしています。

日程・場所につきましては追ってお知らせいたします。ご期待ください。



入会のお誘い

群馬県在住または出身、在勤、在学経験のある方で日仏交流に関心のある方ならどなたでも入会することができます。

会員の種類と年会費について

入会金は一律 1,000円	年額 3,000円
(1)個人会員	年額 10,000円 × 口数

入会の方法

- ホームページから 協会HPの「入会申し込み」ボタンよりお申し込み下さい。
- 電話で 事務局に「入会希望」の旨、お電話ください。
入会金及び会費は所定の口座にお振込み頂くか事務局までご持参下さい。
手続き終了後、会員証を発行致します。
- お振込先 群馬銀行 窓口支店(店番号101)
普通預金 1331623 一般社団法人群馬日仏協会 会長 牛久保 雅美

L'ASSOCIATION FRANCO-JAPONAISE de GUNMA
一般社団法人群馬日仏協会
〒371-0801 群馬県前橋市文京町1-47-1 株式会社すいらん内
<http://www.fj-de-gunma.com> Tel:027-223-6311 Fax:027-221-5909

※本誌に掲載されているイベント、ツアーは社会情勢、諸事情により中止されることがあります。あらかじめご了承ください。

C'est La Vie!

セラヴィ

C'est La Vie!

L'Association franco-japonaise de Gunma

一般社団法人群馬日仏協会会報『セラヴィ』●2013.10Vol.6



群馬日仏協会はフランスとの交流を図ることで、群馬とフランスとの友好関係が発展していくとともに、群馬県のブランド作り独自性の確立に貢献出来ると考えています。

一般社団法人群馬日仏協会会報06号
発刊 2013年10月1日
発行人 牛久保雅美

お知らせ!
VOYAGE en FRANCE

3ème Fête française de Gunma 2013
第3回ぐんまフランス祭2013

2013年11月22日(金)~24日(日)

会場: 群馬県庁舎

「第3回ぐんまフランス祭2013」を一昨年、昨年に続き開催致します。ぐんまフランス祭のテーマは「フランスの市場(マルシェ)」人生を楽しむフランス人達がこの世の恵みに感謝しながら、大切な人々との挨拶や出逢い、幸せを分かち合う場所。今年も様々なイベントも含め、ワクワクドキドキの3日間を、群馬県庁舎1階ホールと県民広場にて演出いたします。

開催日程: 2013年11月22日(金)~24日(日)

会場: 群馬県庁舎

県民ギャラリー及び県民広場

2Fビジターセンター

主催/運営: 第3回ぐんまフランス祭実行委員会

一般社団法人群馬日仏協会

共催: 群馬県

協力: 前橋市 / OPEXA(フランス食品振興会)

後援協賛: 在日フランス大使館 / 公益財團法人日仏会館

フランス観光開発機構 / 上毛新聞社



●リレーエッセイ●Vol.6●

第6号会報発刊に寄せて

ご挨拶

お蔭様で群馬日仏協会会報第6号を発刊できることになりました。協会創立4年目が間近になり、協会活動も一段と活発になってきました。会員も法人・個人あわせ300人となり、益々協会活動の内容の充実が求められております。

ここ半年の主な活動としては2年前に開催した「アートプロジェクト前橋2011」の成果がきっかけとなってフランスのブザンソン美術大学を始め多くの美術団体とフランス大使館のご協力で4月を中心にアートプロジェクト「SOTO」を成功裏に終了いたしました。詳しくは協会ホームページを参照ください。

4月に県立館林美術館にて開催した「パルビエ × ラブルール展」展のオ

ーニングレセプションを会員各位のご協力とエリザベートバイオリンコンクールで見事2位に輝いた成田達樹さん贊助出演、プリオコーポレーション様のご協力で盛大に実施できました。

9月にはフランスと密接な関係のある富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録に向け最終審査が実施されます。

今後も毎月の例会をより充実させ協会員皆様の積極的な参画をお願いして挨拶とさせていただきます。



一般社団法人群馬日仏協会
副会長 植木康夫

会員の横顔

個人会員プロフィール Vol.6

アルザスを旅して



今回4度目のフランス旅行だが、前回までは添乗員さんの指示に従い三度の食事も観光地へも迷うことなく訪れることができた。今回の旅は自分でもアレンジする楽しみもある。

『旅の前半はアルザス地方である。』

ストラスブル、コルマールという都市は中世の街並みが残る“コロンバージュ”という木組みの家が並び、まるでおとぎの国のように世界遺産になっている。どこかドイツにも似ています。

事前に“アルザス地方は寒いよ”とは聞いていたけれど、ストラスブル大聖堂の温度計を見てこの日を疑った。10月下旬なのに「摄氏2度」なのだ。



一般会員 新井洋子

冬支度は高崎より1カ月早く、待ちゆく人の服装は完全な冬支度である。慌ててフリースの上着を買って、「椎内よりも北だったのだ」と気が付いた。イル川の遊覧、ストラスブル大聖堂を観光した後、数人のグループに分かれて行動した。早速ランチをしようとしてお店に入ったが「ランチの時間は過ぎた。」とか言われ取り合ってくれない。それでも何とか片言のフランス語でアルザス地方の料理（シュークリート・ポワソン、アルザスピール等）を食べられた。出発直前の仏会話が役に立ったのだ。

ストラスブルからカイゼルベルグ、コールマールへはレンタカー2台に分乗してワイン街道を走った。郊外の農家レストラン、オーラニエグブル城を訪れた。車窓からは収穫の終えた黄葉のぶどう畠が地平線の果てまで広がり「農業大国フランス」を実感した。

夕食はドレスアップして三ツ星レストラン「オーベルジュ・ド・リル」へ。10種類以上の美味しいフランス料理と極上のワインは今回の旅行で一番優雅な夜であった。



『旅の後半はパリ散策。』

パリの始まりはエッフェル塔に登ることにした。列で待つこと2時間。「Il fait trop froid.(イル フェ トレ フロワ)」とフランス人になったつもりで列のフランス語に耳を傾けた。

第3展望台から見た夕刻のパリは綺麗で鳥瞰図のようだった。

ルーブル美術館、オルセー美術館、モンマルトルの丘、オペラ座、サンジェルマン・デ・ブレ等々…「女は胸胸」の美女3人のパワーで楽しく散策できた。フランス語で道を尋ね、チケットも買うことができた。パリ市民との会話をちょっぴり楽しめ、1日2万歩近く闊歩した。移動手段は地下鉄を使い“地下鉄の達人”に近づくことができた。

外国に旅行していくつも痛感するのは日本の水事情、トイレ事情の高水準である。日本の“おもてなし”は世界一だと今回も実感した。でもね、もし海外旅行に行くならやっぱり“フランス”だよね。次回はもっと流暢なフランス語を話せるようになって訪れたい。

Profile

※順不同

法人会員プロフィール Vol.6

学校法人山崎学園

山崎学園は料理学校としてスタート。その後、調理師学校、コンピュータ校、デザイン校、簿記校、ホテル・トラベル・ブライダル校、製菓校、栄養士や医薬品販売士養成の学校、などが加わりました。毎年、ヨーロッパ研修旅行、オーストラリア研修旅行などがあり、さらにフランス、モナコ、タイア、ドバイなどの学校と姉妹校提携。特にフランス・アルカションの国立学校リセ・コンドルセとは相互交流が長く、毎年5ヶ月頃には、希望者を対象にした1ヶ月間の短期留学。学園祭には同校の教員、学生を迎えていました。

アルカションは高級リゾート地。フランスを縦長の長方形を見ると、左辺は大西洋、下辺は地中海。左辺の上から3分の2辺がアルカション湾。真っ白な砂浜、鳥取砂丘よりも大きなビーチ砂丘、海産物が豊富で、フランスの牡蠣の大部分はここから供給。メキシコ暖流の影響で5月にはもう泳げます。

リセ・コンドルセ短期留学の前半は同校での授業、後半は、現地のレストランで実習。アパートに住んでマルシェ（市場）で買い物をして自炊。通学路・通勤路で毎朝、同じ人に会って、ポン・ジユール。住むということは旅行とはまったく異なります。

短期留学参加生徒は毎年100人程度。外国人との付き合いが大きな自信に。フランスにぼれ込んでフランスで就職する学生もいます。



<http://www.yamasaki.ac.jp>

株式会社コラボレーション

お好み焼きもんじゃ 専門店 KANSAIは県内外で16の直営店がございます。

もんじゃ焼きのルーツは、富岡製糸工場でフランス人技術者が日本との文化交流の中で、ガレットを振舞つたことに始まるとの説があります。当時小麦粉の生産が盛んだった事もあり、ガレットは形を変え今のもんじゃになったと云われています。

私ども KANSAIはそんなご縁で群馬日仏協会に入会し、毎年行なわれている日仏祭りでは、ガレットともんじゃを販売しております。

KANSAIへお越しの際にはもんじゃを食べてながら異国文化を感じてください。



<http://www.collabo-kansai.com>

株式会社わかば設計

当設計事務所は平成19年に開業しました。それまでは全農という組織の中で建築設計に携わっていましたが、定年退職後、旧知の方々より仕事の依頼が次々と舞い込み、定年2ヶ月後に設計事務所を開業することになりました。当初は個人事業として始めたのですが、2年後に株式会社わかば設計として法人化し、現在に至っています。業務内容はマンションや住宅の新築工事・リフォーム工事、更には木造住宅の耐震診断を行い、住宅の耐震性向上を図っています。(耐震診断とは、倒壊しない、倒壊する可能性が高い、等の判定を数値で表す作業です)

芸大美大受験予備校のアートゼミナールでは今から10年前、全国で初のフランス国立公立美術大学受験コースを開設し、全国から希望者が入学しフランス留学を目指しています。

群馬日仏協会との出会いは、4年前に趣味として始めた絵画教室すいらんアートスクール梅津校長の紹介で入会しました。この春と夏に完成したマンション2棟はフランス語のネーミングです。10月25日～27日前橋市民文化会館で開催されるすいらん展には今夏に訪れた南仏やパリの風景を描いた作品を出品します。見に来て下さい。



<http://www.wakaba.com>

株式会社すいらん

当社は、画廊翠巒、すいらんアートスクール、アートゼミナー、すいらん教材、すいらん画材、すいらん総合デザイン研究所、すいらん美術運送などを展開するフランス的発想をベースにアート関連の様々な業務を行なう企業です。

芸大美大受験予備校のアートゼミナールでは今から10年前、全国で初のフランス国立公立美術大学受験コースを開設し、全国から希望者が入学しフランス留学を目指しています。

また、一般社団法人群馬日仏協会の事務局を代行し、在日フランス大使館ほか東京日仏会館など、フランスと群馬を繋ぐお手伝いをさせて頂いています。

群馬日仏協会との出会いは、4年前に趣味として始めた絵画教室すいらんアートスクール梅津校長の紹介で入会しました。この春と夏に完成したマンション2棟はフランス語のネーミングです。10月25日～27日前橋市民文化会館で開催されるすいらん展には今夏に訪れた南仏やパリの風景を描いた作品を出品します。見に来て下さい。



<http://www.suiran.com>

協会レポート

協会レポート 観光商工部会長 宮崎勝弘

『ノルマンディー・サンデン工場訪問とパリ6泊8日』



ではの推薦された、田舎で宿泊や☆付レストランでの夕食など、前回同様、レンタカーで移動する群馬日仏協会ならではの企画です。

最後はパリに2泊しまして、各自思い思いに楽しめる時間もたっぷりお取りしております。

まだ、企画段階ですので、ノルマンディーに詳しい群馬日仏協会の方々のアドバイスやお勧めの場所などいただければ、より良いツアーが出来て通常の旅行会社では味わうことの出来ない旅が期待できます。

群馬県が誇れる大企業のサンデン㈱はカーエアコンのコンプレッサーの販売シェア率ヨーロッパナンバー1です。

2014年6月にサンデン㈱のフランス工場を訪問し、近くのモンサンミッシェルを散策や、ノルマンディー地方の美しい田舎の村や港町を訪ね、12年レンヌ在住の紋谷氏なら



会員レポート

会員レポート 一般会員 井ノ川順二

勉強させて頂いております。



カンボジアの一人娘 泰造さんのお墓で

現地の子供とお互いに撮った写真

群馬日仏協会では広報副会長として主にWEB制作関係や写真撮影などでお手伝いしております。私の仕事も同じWEB制作と写真撮影で、知ることから始まり、理解し情報発信し、提案するといった事をしていますがそのことを協会でも活かせたらと思っています。群馬日仏協会で良いなと思うことは本当のフランス文化を発信し間違った常識をなくしていくことをする事です。間違った常識はその国の方に失礼なので変えていったほうがいいと思いますし、ぐんまフランス祭もその一つで普通の物産展とは違う出来るだけフランスに近づけたいという思いのある行事だと思います。

今は「知ること、理解すること」として、フランスや色々な国との文化情報を玉石混淆。フランス祭や協会を通して、本当の良いフランスの考え方、文化、食事、音楽、アート、群馬との関わりなどを発信し、自分も含め色々な方に今必要な真善美が

C'est La Vie!

キクちゃんカフェ フランス日記

Vol.6

パリのアパートマン



皆さん、こんにちは。

夏のバカンスは、楽しく過ごされましたか？ 私は、毎年恒例のコートダジュールに3週間行ってきました。フランス人の家は、大抵、家族や友達が泊まるお部屋があります。コートダジュールは海ですから、昼間は海水浴やプールで遊ぶ。夜はバーベキューなどして皆と食事、という毎日です。バカンスもなかなか体力がいるのですね。今年も楽しく頑張りました。

楽しいバカンスから帰ってくる空港バスの中で、必ず思うのが、「泥棒が入っていないか」ということです。

昔から、バカンス時期は家主が長期間不在なことから、泥棒が多いのです。運送業者のふりをして泥棒に入り、近所の人は、「引っ越しかと思った」といいう例もあるくらい、夏休みは泥棒が多い。回りの人もバカンス中ですから、人目も少ない。しかも毎年、件数はうなぎ上りと言うから、他人事ではありません。

パリではほとんどのアパートマンに、デジコードがついています。建物に入る前に暗証番号を入力するセキュリティシステムです。コードは大抵、数字とアルファベットを組み合わせた4桁。建物の壁についているキーボードに、正しいコード番号を入力すると、自動的に鍵が開きます。

コード番号を入力して、ドアを開けて建物に入ると、エントランスに出ます。住民の郵便ボックスや、ごみ置き場、管理会社からの伝言板などがあります。ついでに言うと、パリの郵便配達人は、自分の配達地域の建物の鍵を持っています。

エントランスから直接、階段もしくはエレベーターで各アパートマンに行ける場合もありますが、更にセキュリティを高める為に、もう1回、コード番号を入力させる、またはインターフォン形式で、顔を確認してから住民が鍵をあけるようになっています。我が家は、カメラとインターフォンがついており、相手の顔を確認してから、ドアを開ける形式です。

これで、セキュリティは万全と思うでしょう。それは甘い。いつも完璧に稼働していればいいですが、ドアがしっかり閉まらなかったり、鍵がかかるなかったり、インターフォンが鳴らなかったり、いろいろな問題が発生します。

無事に2つのセキュリティを通り抜けると、小さなエレベーターと螺旋階段があります。螺旋階段に巻き込まれている感じでエレベーターがついています。エレベーターは3名乗り、最高重量255KGの、小さなエレベーターです。フランス人達は、「アメリカ人だったら2人、日本人だったら4人乗りだね」と言います。

我が家は、磁石の機能を利用した、何やらハイテクな鍵で、部屋にたどり着くまでの3つのドアを1つの鍵で対応しています。泥棒も簡単には開けられない複雑なつくりの施錠システムだそうです。そういうハイテクな鍵でない家は、泥棒対策に、3つくらい鍵をついているのが普通です。

今年も、無事に楽しく夏のバカンスを終え、泥棒も入らず、よかったです。ありがとうございました。



岩岡基久乃 (いわおかきの)
2000年からフランス在住の日本人。
南仏アンティーヴ市を経て、現在パリ17区在住。
元大手電気メーカー勤務のキャリアウーマン。
好きなものはシャンパンバニュ、くまのみぐるみ。
針灸師の夫とフランス全土を行脚する
さすらいの恋し系チャレンジャー。

